第34回

島原市農業委員会総会議事録

平成23年3月25日

第34回 島原市農業委員会総会

1. 開会日時 平成23年3月25日(金) 16時00分
 2. 閉会日時 平成23年3月25日(金) 16時20分
 3. 開催場所 有明庁舎 3階大会議室
 4. 出席委員者の数 26名 欠席者5名
 5. 議案
 - 第1号議案 農地法第3条第1項(耕作権設定)の規定による許可について
 - 第2号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可について
 - 第3号議案 農地法第4条の規定による許可申請について
 - 第4号議案 農地法第5条の規定による許可申請について
 - 第5号議案 非農地証明願について
 - 第6号議案 農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画案について
 - 第7号議案 平成23年度活動計画案について
- 報告事項 合意解約、使用貸借解約通知書について

議長

只今より、第34回島原市農業委員会総会を開会します。

本日、3番委員、13番委員、24番委員、31番委員、4番委員は所用のため欠席との連絡が
っております。

出席委員は31名中26名で定足数に達しておりますので、総会は成立しております。

議事録署名委員につきましては、島原市農業委員会会議規則第15条第2項の規定により、議長
が指名することになっておりますので、7番委員、8番委員を指名します。

第1号議案農地法第3条の第1項の規定による耕作権設定による許可申請についての1番を上程
します。

事務局

第1号議案 農地法第3条の第1項の規定による耕作権設定について、使用借人は下限面積に達し
ており、農機具はトラクター、フォークリフト等の農業機械器具を所有しております。すべての許可
要件を満たしております。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

1番について、使用借人は12年の農作業歴があります。申請人は父母と妻の4人で農業を営んで
おります。今回の申請は農業者年金受給のため、経営移譲耕作権設定する申請ですので問題ありませ
ん。

議長

1番について、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第1号議案農地法第3条の耕作権設定の1番は許可することに決
定します。

第2号議案、農地法第3条の第1項の規定による所有権移転の1番から4番を一括上程します。

事務局の説明を求めます。

事務局

第2号議案 農地法第3条の第1項の規定による所有権移転の1番について、下限面積に達して
おり、農機具はトラクター、テラー等の農業機械器具を所有しており、すべての許可要件を満たし
ております。

2番についても下限面積に達しており、農機具はトラクター等の農業機械器具を所有しており、す
べての許可要件を満たしております。

3番についても下限面積に達しており、農機具はトラクター、キャリー等の農業機械器具を所有し
ており、すべての許可要件を満たしております。

4番についても下限面積に達しており、農機具はトラクター等の農業機械器具を所有し、すべての許可要件を満たしております。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

1番について、譲受人は30年の農作業歴があり、妻と2人で農業を営んでおり、今回の申請は経営規模拡大のための申請で通作距離も400mから600m以内にありますので、問題ありません。

現地調査員

2番について、譲受人は20年の農作業歴があり、譲渡人と2人で農業を営んでおり、今回の申請は生前贈与のための申請ですので問題ありません。

3番について、譲受人は48年の農作業歴があります。2人で営んでおり、徒歩3分と利用しやすい農地の所有権移転ですので問題ありません。

現地調査員

4番について、譲受人は15年の農作業歴があります。今回の申請は後継者への生前贈与のための申請ですので問題ありません。

議長

ただいま、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第2号議案の1番から4番は許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第2号議案の所有権移転の1番から4番までは許可することに決定します。

第3号議案、農地法第4条の規定による許可申請の1番と2番は関連がありますので同時に上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

第3号議案、農地法第4条規定による1番について、申請人は木造平家建住宅1棟とそれに伴う住宅への進入路として利用したいとのことです。

申請地は農業振興地域内の農用地除外になっております。被害防除計画は別途添付しておりますので、説明を省略させていただきます。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

住宅建設と進入路の転用申請です。1番の申請地の東側、北側は申請人所有の農地、西側は宅地、南側は2番の申請地であります。2番の申請地の南側、西側は宅地であります。

雨水、排水は溜めますより道路側溝へ放流、汚水及び生活雑排水は合併浄化槽より道路側溝へ放流となり、問題ないと見て参りました。

議長

ただ今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、1番と2番は許可相当と認めることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、1番と2番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定します。

第4号議案、農地法第5条の規定による許可申請の1番を上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

第4号議案、農地法第5条の規定による1番の賃借人は申請地を借り受け、駐車場として利用したいということです。

申請地は都市計画区域内の第3種農地になっております。被害防除計画は事前に配布済みですので説明を省略させていただきます。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

申請地の東側、西側は道路、北側、南側は宅地になっております。

雨水排水は道路側溝へ放流となり問題なしと見て参りました。

議長

ただ今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、1番は許可相当と認めることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、1番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定します。

2番を上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

2番の、使用借人は申請地を借り受け、木造平家建住宅1棟を建築したいということです。

申請地は都市計画区域内の第3種農地になっております。被害防除計画については別途添付しておりますので説明を省略します。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

申請地の北側は宅地と農地、西側、南側は宅地、東側は排水路になっております。
雨水排水は自然流下により放流、汚水及び生活雑排水は合併浄化槽より道路側溝へ放流となり問題ないと見て参りました。

議長

ただ今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、2番は許可相当と認めることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、2番は許可相当と決定し、県知事に意見書を送付することに決定します。

第5号議案、非農地証明願の1番を上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

第5号議案非農地証明願の1番について、申請人は昭和50年3月22日より宅地として利用しているとのことです。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

申請地の北側は道路、南側は線路敷き、西側、東側は宅地で、建物を見ると築20年以上経過しており、非農地証明を交付することに問題なしと見て参りました。

議長

ただ今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、1番は非農地証明を交付することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、1番は非農地証明書を交付することに決定します。
2番について上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

2番の申請人は平成2年月日不詳ころより資材置き場及び駐車場として利用しているとのことです。

議長

現地調査員の報告をお願いします。

現地調査員

申請地の北側は道路、西側、東側は宅地、南側は水路になっており、現地の状況を見ると非農地証明を交付することに問題なしと見て参りました。

議長

ただ今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、2番は非農地証明を交付することにしてよろしいでしょうか。

(「はい」との発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、2番は非農地証明書を交付することに決定します。
第6号議案、農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画案について上程します。
事務局の説明を求めます。

事務局

第6号議案、農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画について説明します。
農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、農用地利用集積計画の承認を得ようとするものです。

耕作権の新規設定	9件	11筆	15,445㎡
耕作権の再設定	10件	12筆	10,147㎡
合計	19件	23筆	25,592㎡

次に農業経営基盤強化促進法による所有権移転については別添のとおりです。

議長

ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご質問等がありませんので、農用地利用集積計画案を承認することに決定してよろしいでしょうか。

議長

ご異議なしと認めます。よって、第6号議案は承認することに決定します。
第7号議案、平成23年度の活動状況計画案について、を上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

第7号議案、平成23年度活動計画案について説明します。
別紙のとおり1.「遊休農地に関する措置」、2.「認定農業者等担い手の育成及び確保」、
3.「担い手への農地の利用集積」、4.「違反転用への適正な対応」を目標に掲げて活動を行います。

議長

ただ今、事務局より平成23年度の活動計画案について説明がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、事務局より説明がありました活動計画案を承認することにしてよろしいでしょうか。

議長

ご異議なしと認めます。よって、平成23年度の農業委員会の活動報告案を承認することに決定します。

農地法第18条第6項の合意解約通知等については、別添に記載のとおりでありますので報告します。

これで第34回島原市農業委員会総会を閉会します。